



工陵

小山高専だより



新小山市民病院 お・ボット 勤務中！

Vol.18 2024.6

目次

学校長挨拶

大局を見失わないように…………… 2

主事・専攻科長挨拶

「頑張れ」という言葉～もっと気楽に解釈しよう～ … 3

『学校でしかできないこと』…………… 3

自分を成長させる1年に …………… 3

飛び出せ社会へ！海外へ！…………… 3

学級担任等の紹介…………… 4

新入生に贈る言葉…………… 5

新任教職員挨拶…………… 6

学生相談室からのお知らせ…………… 7

学生会ニュース…………… 8

学寮ニュース…………… 8



<https://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.197
※従来の小山高専Quarterlyから工陵・小山高専だよりへ変更しました。



大局を見失わないように

校長 堀 憲之

皆さんは目の前のことに集中しすぎて視野が狭まり、大局を見失ったことはありませんか。40年ほど前のことですが、ある地方紙に環境問題や貿易不均衡などの国際問題を協議する会議の成果を風刺する記事が掲載されました。漫画では各国の代表が協力して紙の段ボール箱にできるだけ物を入れるという設定だったと思います。ある国の首脳がまず大きめのボールをいくつか箱に入れて「いっぱいになったから終わり」と言いました。すると別の首脳が「まだ入る」と言って隙間に小さいボールを入れました。更に小さな物を入れる代表達がつづき、ある首脳が砂を詰めたとこで、もうこれ以上何も入らないと思われました。ところが最後に登場した首脳が水差しで水を注ぎ始め、砂を湿らせて見事箱に入れることができました。しかし、しばらくすると段ボールに水が浸み込んで箱がつぶれてしまった、という結末です。

あることに夢中になっていると目先のことに捕らわれて全体像を忘れ、もともとの目標を見失うことがあります。勉強でも仕事でもそういうことはあり、誰もが気を付けたほうがよいでしょう。しかし人は特に時間が無い状態で多くの問題を抱えていると、大局的に物事を眺めなくなりがちです。ですから問題解決のための時間的あるいは心理的なゆとりを持つておくことが大切です。ゆとりは視野狭窄のトンネル状態から抜け出して、本来の問題を考えるための時間であり、ただのんびりするだけのものとは違うと思います。〇〇プログラムや△△改革など多くの学校で取り組まれています、それらは何のためだったかを振り返る時間も欲しいところです。多くの人が詰込み過ぎになっている状況にあると、集団としても視野が狭くなっているかもしれません。誰も水差しを手にするできないように気をつけねばなりませんね。

さて、実は上の国際会議とはG7サミットのことで、最後の代表は日本の首相でした。技術力で躍進を遂げていた日本は、すぐに慢心することなく、物事を極めようとする姿勢は良い評価を受けていました。一方で視野が狭いと思われることも当時あったのかもしれません。世界を見渡すと、意図的に局所的で独りよがりな団体が増えているように感じますが、40年経った今もグローバルに活動している日本のほか、グローバル化を推進している多くの国や地域ではこれからも大局的視野を持った技術者がますます必要とされるでしょう。

「頑張れ」という言葉 ～ もっと気楽に解釈しよう ～



校長補佐(教務主事)
飯島 道弘

みなさんは、周りから「頑張れ」という言葉をかけられることは多いと思います。自分のことを思って期待している言葉とも感じたり、無責任な言葉にも感じたりするかもしれません。その言葉が重荷になることもあります。困難な壁を乗り越える原動力になったりします。自分にとっての「頑張る」には、正解がありません。「頑張る」の程度は人や能力により変化し、どこまで頑張るかも個人の解釈です。頑張れ続けるも良いし、逃げ出しても良いでしょう。自身で理想像を作り、ハードルを上げてしまい過ぎるとストレスを感じるかもしれません。自身で選択可能な、その「頑張る」という過程でしか向上しない能力や、認識できない自分の本質があります。「自分を見つめ、自分らしい生き方を知ること」が今後の人生にとって重要です。授業や課外活動を通して、もっと気楽に、小さな目標から一步步「頑張る」ようにしていくと、その過程で人間性も磨かれていきます。勉強は、自身の頑張りが成果として最も認識しやすいものかもしれません。常に、他人との比較ではなく、自身が納得することが一番です。様々な選択肢もあるので、答えを一つと考えずに、選択したものは後悔せず、他人との交流も通して自分らしさを探しながら充実した学校生活を送りましょう。

『学校でしかできないこと』



校長補佐(学生主事)
加藤 清考

皆さんは、「学校でしかできないことは？」と聞かれて、何が思い浮かびますか？高価な装置や試料などで実験・実習をし、技術者となるために必要な知識を身につけること？ロボコン、デザコン、プロコン等のコンテストにチームで取り組み、全国大会出場を目標に頑張ること？みなさんそれぞれ、思い浮かぶものは違うと思います。

試しに、google 検索で「学校でしかできないこと」と検索すると、“社会適応能力を身につけること”、“集団生活の基礎を身につけること”など、色々出てきます。

それでは社会で必要となる能力とは何でしょうか？専門的な知識・スキル以外に何が必要となるのでしょうか？…

小山高専には、クラブ活動として運動部・文化部併せて26の部活動の他に、16の同好会・愛好会があります。また、ロボコン・プロコン・デザコン・プレコン・DCON等のプロジェクトもあります。

球技大会や工陵祭のクラス企画、学生会や工陵祭実行委員会などの学生活動もあります。

これらの活動に是非積極的に参加してみてください。

時には自分の思い通りに進まないこともあることでしょう。それでも相手を思いやる心を持ちつつ、積極的に学校生活を送っていれば、無意識のうちに社会で必要となる能力が身につけていくことでしょう。

自分を成長させる1年に



校長補佐(寮務主事)
本多 良政

寮務主事を務める建築学科の本多良政です。寮生が成長できるように寮務スタッフとともに寮生を支援しています。

ところで、学生の皆さんは何をしたくて小山高専に入学し、今どんなことに励んでいるのでしょうか？目標や目的があり、それに向かって邁進しているのであればとても素晴らしいことと思います。今年度の学寮開寮日に、自分を成長させるように努めてほしい、そのために自分を守ること、やりたいことへの挑戦、将来、必要となる能力を身につける努力をしてほしいと話しました。自分を守るために周りの人をせめるのではなく、思いやりの行為をすることで自分を助けてもらうことができます。その結果、自分を守ることができ、人間性を育てることになります。そして、変化の激しい現代では成長し続けることが求められています。常に成長できる自分になるために必要な能力を身につけるように努めてほしいです。

今年度は、自分を成長させる1年としてはいかがでしょうか。

飛び出せ社会へ！海外へ！



校長補佐(専攻科長)
鈴木 真ノ介

今年度の専攻科1年生から、カリキュラムが新しくなりました。主な変更点の一つが、実務研修単位の拡充です。実務研修はこれまで4単位開設されていましたが、この変更により最大12単位修得可能になりました。これは、昨今本校が力を入れている数週間から数か月の短期海外留学や、過去に参加実績のなかった国内企業の長期インターンシップへの参加を促すためです。これまででは数か月の研修であっても1か月分の4単位しか付与されませんでしたが、今年度の専攻科入学生からは最長3か月分の単位を修得できます。複数企業の研修や、留学とインターンを組み合わせることも可能です。専攻科では2週間の実務研修(特)(2単位・海外研修含む)が必修です。この単位拡充を受けて、必修分に加えて短期留学や長期インターンシップに行くことをこれまで以上に強く勧めます。海外の大学では、学外研修を非常に重要視しています。専攻科もそれに倣うとともに、大学との差別化の意味も込めています。現役の専攻科生、および専攻科に興味を持っている本科学生の皆様には、是非ともこの制度を活用して学生の間に社会や海外に飛び出し、様々な知見を広げて頂きたいと考えています。

学級担任等の紹介

専攻科



機械工学コース主任
日下田 淳
機械工学科

機械工学科



電気電子創造工学コース主任
サム アン ラホック
電気電子創造工学科

電気電子創造工学科 (L) 電気電子創造工学科 (R)



物質工学コース主任
加島 敬太
物質工学科

物質工学科



建築学コース主任
安高 尚毅
建築学科

建築学科

5年



飯塚 俊明
機械工学科



飯島 洋祐
電気電子創造工学科



笠原 雅人
電気電子創造工学科



田中 孝国
物質工学科



崔 熙元
建築学科

4年



那須 裕規
機械工学科



李 曉楊
電気電子創造工学科



小林 康浩
電気電子創造工学科



酒井 洋
物質工学科



佐藤 篤史
建築学科

3年



伊澤 悟
機械工学科



大内 翔平
電気電子創造工学科



鹿野 文久
電気電子創造工学科



武 成祥
物質工学科



小林 基澄
建築学科

2年



増山 知也
一般科



杉山 桂子
一般科



長峰 博之
一般科



上野 哲
一般科



ハー ザイ
一般科

1年



岡崎 勝男
一般科



岡田 晃
一般科



平野 進一
一般科



佐藤 悠樹
一般科



中田 幸子
一般科

新入生に贈る言葉



機械工学科1年担任
岡崎 勝男

強くなりたくはありませんか？
私は強くなりたくて、日々、数学やトレーニングに取り組んでいます。
しかしながら“強さ”とは何なのか、未だに答えを出せずにいます。
そんな未熟な私だからこそ、あなた方と共に成長していきたい。
人間関係、勉強、部活等、高専生活には“強さ”へのヒントとなりそうなものが溢れています。
日々努力し、時には腐り、そんな青春の中で、ぜひとも理想の「強さ」を見出し、それに向けて共に歩みを進めましょう！



電気電子創造工学科(L)
1年担任
岡田 晃

ご入学おめでとうございます。高専生となった皆さんにはこれまで以上に自分の人生について考える機会があると思います。就職に向けて自分が仕事でしたいことを探したり、進学を見据えて授業やテストをこれまで以上に真剣に取り組んだり、なかには部活動に力を注ぐ人もいるかもしれません。高専生活は、自分の将来のために準備ができる大切な期間です。新時代の先駆者となる皆さんの個性やアイディアは、日本社会や国際社会の未来にとって欠かすことのできない重要なものだと感じています。皆さんには新しい挑戦と成長の機会が広がっています。お互いに尊重し、協力し、共に築くことで、この先の未来をより輝かしいものにしていくことができるでしょう。時にはいくつかの失敗を経験することと思います。しかし、失敗は成長の一環であり、経験から得た知識は将来の成功に繋がります。新たなチャレンジに向けて、ぜひ前向きな姿勢で取り組んでいきましょう。



電気電子創造工学科(R)
1年担任
平野 進一

皆さん、こんにちは。1R担任の平野です。入学してから一カ月余経ちましたが、小山高専には慣れてきたでしょうか。入る部活も決まり、本格的に小山高専の一員として活動していくことと思います。これからの皆さんの活躍を楽しみにしています。夢や目標を実現するためには、それに向かうための道筋を自分で見つけ、それに向かって突き進む必要があります。ただ闇雲に進んで結果を掴めた人がいたとするなら、それは運が良かったか非凡なのだと私は思います。世界は自分のために作られているわけではないので、自分の手で切り開かなければなりません。その意味で高専は、厳しい競争を勝ち抜いて教員となった研究者あるいは仲間がたくさんいます。皆さん自身の夢や目標の実現のために、ヒントや策を見つけるキッカケになるはずですよ。ぜひこの環境を利用していきましょう。



物質工学科1年担任
佐藤 悠樹

入学おめでとうございます。
高専生活が軌道に乗り始め、皆さんが頑張りたいことが見えてきた時期かと思います。そんな皆さんに、柔道の神様と呼ばれる三船久蔵十段の言葉「文武一道」をお送りします。この言葉は、勉強と課外活動は根本的に同じで、どちらも極めれば同じ要素が見出せるという意味です。高専では、勉強や研究に情熱を注ぐ学生もいれば、課外活動で才能を発揮する学生もいます。どちらの道も極めようとするれば同じほど厳しいものですが、自分が楽しいと思えることを深く追求してみたいかがでしょうか。卒業の日に「辛いこともあったけれど、それ以上に充実して楽しい時間だった」と笑えるような、高専生活を送ってください。そして、いつの日か家族や友人に胸を張って「小山高専での5年間は本当に素晴らしかった」と言える日が来ることを心から願っています。



建築学科1年担任
中田 幸子

自分を創ること―「自己本位」と「This is Me」―
夏目漱石の『私の個人主義』の中に、あくまで自分らしさを失うことなく、不断に努力した場合、ときに「ああここにおれの進むべき道があった!ようやく掘り当てた!」ということがあったと記されています。このような「自分にしかない道を見いだすこと」を漱石は「自己本位」と位置づけています。
漱石の『自己本位』に共通する思想を持った表現が、ミュージカル「Camp Rock」のナンバー「This is Me」にあります。
「This is real this is me I'm exactly where I'm supposed to be now Gonna let the light shine on me Now I've found who I am there's no way to hold it in No more hiding who I wanna be "This is me"」(本当の私、これが私。私は今、私がいるべき場所で、明るい光を浴びようとしている。本当の自分を抑えるなんて無理。隠したりはしない。これが私だから)
私たちは、生涯をかけて「これが私」という自分を創りあげていくものだと思います。高専生活において、自分自身を創り上げることに拘って下さい。

新任教職員挨拶



機械工学科
大根田 浩久

本年度より、機械工学科に転任いたしました大根田浩久です。3月までは、愛媛県の弓削島にある国立弓削商船高等専門学校の電子機械工学科で計測工学、機械工作法、設計製図などを担当していました。小山高専では計測工学、機械工作法を主に担当いたします。本校の学生に伝わるように努力していきたいと考えています。研究テーマは「触感覚による感性評価の数値化」に興味があります。また、「切削加工に生じる挙動の解析」などの研究も行っており、これらの研究を小山高専の卒研生と一緒に研究できることを楽しみにしています。

最後に、本校において、まだ不慣れなところがありますが、教育・研究に対して、精一杯、尽力して参ります。今後とも、よろしくお願いいたします。



物質工学科
早乙女 友規

小山高専の皆様、はじめまして。4月から物質工学科に着任した早乙女です。東京農工大学と長岡技術科学大学を経て、小山高専が3校目の職場になります。実はどちらの学校でも、小山高専出身の学生と交流する機会がありましたが、その全員が自分の強みを発揮して活躍していました。同様に学生の皆さんが社会で活躍できるように、微力ながらお手伝いさせていただきます。

また私の専門は蛋白質科学で、デング熱やインフルエンザなど、ウイルス由来のワクチン蛋白質の物性評価を行っています。研究内容は生物・物理・化学の3分野が融合した形で、蛋白質凝集にまつわるテーマをこれから増やしていきます。(現在、研究室の1期生を募集中です)



一般科
荒武 永史

小山高専の皆さん、はじめまして！4月より（数学系）として着任いたしました、荒武永史（あらたけひさし）です。実は私は小山市出身で小山二中→栃木高校を卒業した後、13年間で京都で過ごし、このたび地元に戻って参りました。慣れ親しんだ土地で教育・研究に携われることを大変嬉しく思っています。

私の専門は「数理論理学」および「圏論」という数学の中でも少し変わった分野で、数学者の中でもおそらく最も抽象的なことをやっています。また、アニメ・音楽・美味しいものが大好きです。

教員としても研究者としても若輩者ではありますが、小山高専の皆さんが「人間性豊かな技術者」になるために尽力していきます。どうぞよろしくお願いいたします！



課外活動指導員
鈴木 真之

皆さんこんにちは。本年4月より学生課で課外活動指導員としてお世話になることになりました。よろしくお願いいたします。私は、県立高校に長年勤務し高校生の指導に当たってまいりました。その間、多くの生徒達と関わり沢山の貴重な経験や多くの学びがありました。学生の皆さんは、小山高専でしか得られない貴重な体験や学びをしっかり身につけ充実した学校生活を送って下さい。課外活動指導員としては、課外活動の巡回を通して学生の皆さんが安全安心な活動ができるよう少しでもお役に立てればと思っています。部活動は単に活動するだけでなく、仲間と切磋琢磨する中で自分自身を成長させてくれると思います。是非、学業はもちろん様々な活動にチャレンジして下さい。

学生相談室からのお知らせ

ひとりで悩まないで！つらいときは誰かに相談してみよう。

でも、相談する人を自分で見つけることが難しいなら、ぜひ学生相談室を利用してみてください。

学生相談室のスタッフは皆さんの相談にのりたい、皆さんの力になりたいと思っています。

学生相談室長 鹿野 文久



学生相談室 相談申込

https://www.oyama-ct.ac.jp/college_life/gakuseishien/gakuseisoudan/

カウンセラー紹介



スクールカウンセラー 河西 正枝

皆さん、こんにちは。スクールカウンセラーの河西です。私はこの4月から新しく小山工業高等専門学校に来ることになりました。ですので、今年入学の新入生の皆さんと同様に私もここでは1年生です。新しい環境の中でまだ分からないことも多いのですが、少しずつ慣れていけたらと思っています。皆さんからこの学校についていろいろと教えてもらえたら嬉しいです。

学校生活を送る中では上手くいかないこともあるかもしれませんが、疲れて元気がなくなることもあるかと思います。そんな時に少しでも気を楽にできる場所として相談室を利用してもらいたいと思っています。皆さんが元気に学校生活が送れるようにお手伝いしたいと思っていますので、気軽に話に来てください。

スクールカウンセラー 田口 明子

こんにちは。新年度がスタートしましたね。今年もスクールカウンセラーとして、みなさんとお会いすることになりました。モヤモヤすること、気になっていること、心配なことなどありましたら、いつでも気軽に相談室を尋ねてきてください。お話を聞きながら、一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。上手く話せなくても、こんなこと相談してもいいのかな？と躊躇してしまうような内容でも、気にしないで大丈夫です。また、もし近くに心配な友達がいたら、一緒に相談室に行ってみない？と声をかけてみてください。学生生活の一部として、相談室を身近に感じていただけたら嬉しいです。

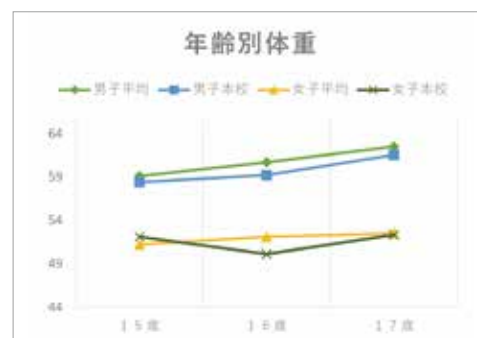
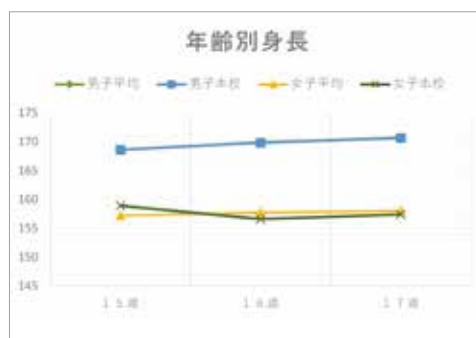
保健室より

4月に実施しました健康診断の結果が出ております。身長・体重ともに概ね全国平均と同じです。(下図参照)。

また、再検査が必要な学生には、医療機関受診の受診案内文が入っておりますので、早めの受診をよろしくお願いします。

令和6年度 学生相談室員

室長	鹿野 文久 (電気電子創造工学科)
副室長	伊澤 悟 (機械工学科)
室員	小林 康浩 (電気電子創造工学科)
室員	西井 圭 (物質工学科)
室員	加島 敬太 (物質工学科)
室員	文野 光 (建築学科)
室員	佐藤 悠樹 (一般科)
室員	長田 朋樹 (一般科)
室員	廣田 智子 (保健室)



身長	15歳	16歳	17歳
男子平均	168.6	169.9	170.7
男子本校	168.6	169.8	170.6
女子平均	157.2	157.7	158.0
女子本校	158.9	156.6	157.4

体重	15歳	16歳	17歳
男子平均	59.1	60.7	62.5
男子本校	58.4	59.2	61.5
女子平均	51.2	52.1	52.5
女子本校	52.1	50.1	52.3



学生会ニュース

GAKUSEIKAI NEWS

令和6年度学生会長

機械工学科4年 井上 直樹

こんにちは。令和6年度学生会長になりました、4M 井上直樹です。

突然ですが、「学生会執行部」とはどのような組織かご存知でしょうか？

新入生だけでなく、在校生もよく分からないという人は多いと思います。昨年度も、クラスの人から「学生会ってどんなことしているの?」「活動しているところを見たことがない」といった声はよく聞きました。

学生会執行部とは、学生全員を下から支える組織だと私は思っています。

あまり表に立って活動することが少ないのは事実ですが、学生全員と関わっている組織であることも事実です。

これから1年間、学生会新聞等で活動内容を発信していくと共に、全力で学生のサポートをしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

学寮写真



新入寮生歓迎会



寮生ボランティア



令和6年度前期寮長

建築学科4年

畑中 優志

新入生入寮！4月1日に新入寮生が寮に入りました。つい最近まで中学校へ通っていた子たちの大きな一歩だと思います。明るく元気で、1年生同士で行ったアイスブレイクでは、盛んに交流をして、これから一緒に過ごす仲間たちと仲を深めてくれました。

6日に行われたボランティアは、1年生初めての全寮生イベントでした。先輩とも関わり、寮として1つになるため親睦を深めました。

17日は新入寮生歓迎会が行われました。青嵐寮恒例行事です。入寮から約2週間たち、少し慣れてきたところで、先輩たちとの関わりを増やす、1年生との交流を増やすことができていたら嬉しいです。最後には全寮生で寮歌を歌い、心をつにしました。

20日寮生球技大会。雲一つないととても良い天気の中、ドッジボールとリレーを楽しみました。先生方も参加をし、寮生との交流をしていました。終わった後には、サッカーをして楽しんでいる姿も見れました。

24日寮生防災避難訓練。全寮生による避難訓練を行いました。寮長を含めた中心メンバーは、初期対応の確認を行いました。寮生も、避難経路の確認と避難の流れの確認を行いました。全寮生が安全に避難をすることができました。

これからも沢山の行事を行うので、楽しい寮を目指していきたいと思います。

独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100

編集：小山高専広報戦略室 発行：2024.6